

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【ミクロブタニル/代謝物】 ^{注2)}
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
もも (果肉)	2	10%水和剤	2000倍散布 500 L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A : 0.04/0.03(4回, 3日)
						圃場B : 0.20/0.09*(*4回, 7日)
もも (果皮)	2	10%水和剤	2000倍散布 500 L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A : 1.74/0.20(4回, 3日)
						圃場B : 4.02/0.22(4回, 3日)
なす (果実)	2	10%水和剤	4000倍散布 130~220, 300 L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A : 0.06/<0.01
						圃場B : 0.04/<0.01
メロン (果実)	2	10%水和剤	6000倍散布 300 L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A : <0.01/0.01*(*3回, 3日)
						圃場B : 0.01/<0.01
おうとう (果実)	2	10%水和剤	2000倍散布 700, 500 L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A : 0.34/0.10
						圃場B : 0.35/0.13*(*3回, 7日)
かき (果実)	2	10%水和剤	1000倍散布 500, 400 L/10a	5回	7, 14, 21日	圃場A : 0.18*/0.08*(*5回, 14日) (#)
						圃場B : 0.26/0.08*(*5回, 14日) (#)
かき (果実)	2	10%水和剤	2000倍散布 400 L/10a	5回	7, 14, 21日	圃場A : 0.06/0.01*(*5回, 14日)
						圃場B : 0.05/0.01*(*5回, 21日)
ピーマン (果実)	2	10%水和剤	4000倍散布 300 L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A : 0.09/0.02
						圃場B : 0.04/0.04*(*4回, 7日)
いちじく (果実)	2	10%水和剤	2000倍散布 200 L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A : 0.06/0.06
						圃場B : 0.23/0.24
実えんどう (成熟子実)	2	10%水和剤	2000倍散布 180, 300 L/10a	3回	3日	圃場A : <0.01/<0.02(3回, 3日) (#)
						圃場B : <0.02/0.02(3回, 3日) (#)
にんにく (鱗茎)	2	25%乳剤	4000倍散布 300L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A : <0.01/<0.01
						圃場B : <0.01/<0.01
かぼちゃ (果実)	2	10%水和剤	4000倍散布 150L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A : <0.01/<0.01
						圃場B : 0.02/<0.01
ぎぼうし (茎葉)	2	10%水和剤	2000倍散布 300L/10a	2回	90, 120, 150日	圃場A : <0.1/<0.1
					87, 120, 150日	圃場B : <0.1/<0.1(2回, 87日) (#)
ふき (葉柄)	2	25%乳剤	4000倍散布 150L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A : 0.35/-
						圃場B : 0.375/-
未成熟ささげ (さや)	2	10%水和剤	4000倍散布 250L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A : 0.32/-
						圃場B : <0.08/-
食用ぎく (花全体)	2	25%乳剤	3000倍散布 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A : 0.48/-
				3回		圃場B : 0.46/-(3回, 21日) (#)
ししとう (果実)	2	10%水和剤	4000倍散布 300, 200L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A : 0.22/-
						圃場B : 0.25/-
とうがらし (果実)	2	10%水和剤	4000倍散布 200L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A : 0.35/-
						圃場B : 0.40/-
わけぎ (茎葉)	2	10%水和剤	2000倍散布 210, 150L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A : 0.13/-
						圃場B : <0.05/-
あさつき (茎葉)	2	10%水和剤	2000倍散布 150L/10a	3回	14, 21日	圃場A : <0.05/-
						圃場B : 0.33/-
しそ (葉)	2	25%乳剤	3000倍散布 200 L/10a	2回	14, 21日	圃場A : 0.4/-
						圃場B : 0.4/-
しそ (花穂)	2	25%乳剤	3000倍散布 200 L/10a	2回	21日	圃場A : 0.16/-
						圃場B : 0.36/-
食用金魚草 (花)	2	25%乳剤	3000倍散布 150 L/10a	2回	14日	圃場A : 0.16/-
						圃場B : 0.50/-
らっきょう (鱗茎)	2	10%水和剤	2000倍散布 300 L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A : <0.05/-
						圃場B : <0.05/-
トマト (果実)	2	10%水和剤	4000倍散布 300 L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A : 0.08/-(4回, 1日) (#)
						圃場B : 0.09/-(4回, 1日) (#)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【微生物/代謝物】 ^{注2)}
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ミニトマト (果実)	2	25%乳剤	2500倍散布	3回	1, 3, 7日	圃場A : 0.30/-
			250~300, 280 L/10a			圃場B : 0.58/-

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留値が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2)：代謝物（M3、M4、M8及びM9の合計）の最大残留値は、微生物に換算して記載した。

換算係数は微生物/代謝物=0.948

注3) (#)：これらの作物残留試験は、申請の適用範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注4) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

ミクロブタニルの海外作物残留試験一覧表

米国

作物名 (試験部位)	試験 圃場数	試験条件				最大残留量(ppm) (注1) 【ミクロブタニル】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
アーティ チョーク (花蕾)	3	40%水和剤	0.1 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.60 lb ai/acre)	6回	3日	圃場 A: 0.25 圃場 B: 0.59 圃場 C: 0.44
アスパラガ ス(新芽)	2		137.9~140.1 g ai/ha 散布	4回	31日	圃場 A: <0.01 (#) (注2)
			137.9~141.2 g ai/ha 散布	4回	32日	圃場 B: <0.01 (#)
ズッキーニ (果実)	1		0.10 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.60 lb ai/acre)	6回	0日	圃場 A: 0.0055
かぼちゃ (果実)	2		140.1 g ai/ha 散布 (散布量 46.75L/ha)	3回	0日 3日 7日	圃場 A: 0.075 圃場 A: 0.008 圃場 A: 0.004
			140.1 g ai/ha 散布 (散布量 383.35L/ha)	3回	0日	圃場 B: 0.08
未成熟 いんげん (Snap Bean)			0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.50 lb ai/acre)	4回	0日	圃場 A: 0.09 圃場 B: 0.38
レタス (結球)	7		0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.491 lb ai/acre)	4回	2日	圃場 A: 0.34 (茎葉・外葉あり) (#) 圃場 A: 0.02 (茎葉・外葉なし) (#)
			0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.498 lb ai/acre)	4回	4日	圃場 B: 0.88 (茎葉・外葉あり) 圃場 B: 0.10 (茎葉・外葉なし)
			0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.513 lb ai/acre)	4回	4日	圃場 C: 0.02 (茎葉・外葉あり) 圃場 C: <0.01 (茎葉・外葉なし)
			0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.503 lb ai/acre)	4回	2日	圃場 D: 1.33 (茎葉・外葉あり) (#) 圃場 D: 0.24 (茎葉・外葉なし) (#)
			0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.510 lb ai/acre)	4回	2日	圃場 E: 0.54 (茎葉・外葉あり) (#) 圃場 E: 0.09 (茎葉・外葉なし) (#)
			0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.494 lb ai/acre)	4回	3日	圃場 F: 0.38 (茎葉・外葉あり) 圃場 F: 0.06 (茎葉・外葉なし)
		0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.501 lb ai/acre)	4回	2日	圃場 G: 0.08 (茎葉・外葉あり) (#) 圃場 G: 0.01 (茎葉・外葉なし) (#)	
		レタス (非結球)		0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.507 lb ai/acre)	4回	2日
		0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.499 lb ai/acre)	4回	0日 2日 7日 14日	圃場 B: 7.40 (#) 圃場 B: 1.69 (#) 圃場 B: 0.72 圃場 B: 0.29	
		0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計 0.506 lb ai/acre)	4回	0日 2日	圃場 C: 1.22 (#) 圃場 C: 0.54 (#)	

作物名 (試験部位)	試験 圃場数	試験条件				最大残留量(ppm) 【マイクロブタニル】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
レタス (非結球)	7	40%水和剤	0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.506 lb ai/acre)	4回	6日 13日	圃場C: 0.22 0.10
			0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.501 lb ai/acre)	4回	2日	圃場D: 1.88 (#)
			0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.506 lb ai/acre)	4回	4日	圃場E: 0.20
			0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.505 lb ai/acre)	4回	3日	圃場F: 1.52
			0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.512 lb ai/acre)	4回	2日	圃場G: 0.23 (#)
ラズベリー (果実)	3		0.5 oz ai/acre 茎葉散布	8回	0日 3日	圃場A: 0.315 0.206
			1.0 oz ai/acre 茎葉散布	8回	0日 3日 7日	圃場A: 0.713 0.419 0.151
			0.5 oz ai/acre 茎葉散布	8回	7日	圃場B: 0.072
			0.5 oz ai/acre 茎葉散布	4回	0日 4日 8日	圃場C: 0.07 0.05 0.05
Caneberry (果実)	5		0.0625 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.25 lb ai/acre)	4回	0日	圃場A: 0.25
				4回	0日	圃場B: 0.16
				4回	0日	圃場C: 0.60
				4回	0日	圃場D: 0.42
				4回	0日	圃場E: 0.39
Gooseberry (果実)	2		0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計1.0 lb ai/acre)	8回	0日	圃場A: 0.32
		8回		0日	圃場B: 0.31	
Currant (果実)	1	0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計1.0 lb ai/acre)	8回	0日	圃場A: 0.86	
パパイヤ (果実)	4	0.25 lb ai/acre 茎葉散布 (計2.0 lb ai/acre)	8回	0日	圃場A: 0.82	
			8回	0日	圃場B: 1.13	
			8回	0日	圃場C: 0.68	
			8回	0日	圃場D: 0.82	
綿実 (種子)	1	¹⁴ C & ¹² C マイクロブタニル	種子消毒 0.39、0.54 lb ai /100 lb 種子	1回	136日	圃場A: <0.01 (#)
アーモンド (Nut Meat)	17	60%水和剤	0.19 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.57 lb ai/acre)	3回	154日	圃場A: <0.001 (#)
			0.38 lb ai/acre 茎葉散布 (計1.14 lb ai/acre)	3回	154日	圃場A: <0.001 (#)
			0.19 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.57 lb ai/acre)	3回	161日	圃場B: <0.001 (#)
			0.38 lb ai/acre 茎葉散布 (計1.14 lb ai/acre)	3回	161日	圃場B: 0.0013 (#)
			0.19 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.57 lb ai/acre)	3回	160日	圃場C: 0.0036 (#)

作物名 (試験部位)	試験 圃場数	試験条件				最大残留量(ppm) 【マイクロブタニル】		
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
アーモンド (Nut Meat)	17	40%水和剤	0.19 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.57 lb ai/acre)	3回	160日	圃場D: <0.001		
		25%乳剤	0.19 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.57 lb ai/acre)	3回	160日	圃場E: <0.001 (#)		
		40%水和剤	0.19 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.57 lb ai/acre)	3回	160日	圃場F: <0.001		
		60%水和剤	0.19 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.57 lb ai/acre)	3回	161日	圃場G: <0.001 (#)		
		40%水和剤	0.19 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.57 lb ai/acre)	3回	161日	圃場H: <0.001		
			0.19 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.57 lb ai/acre)	3回	161日	圃場I: <0.001		
			0.19 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.57 lb ai/acre)	3回	161日	圃場J: <0.001		
		25%乳剤	0.19 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.57 lb ai/acre)	3回	161日	圃場K: <0.001 (#)		
		40%水和剤	0.2 lb ai/acre 茎葉散布 (計1.2 lb ai/acre)	6回	90日	圃場L: 0.0035 (#)		
			0.2 lb ai/acre 茎葉散布 (計1.2 lb ai/acre)	6回	91日	圃場M: 0.0032 (#)		
			0.2 lb ai/acre 茎葉散布 (計1.6 lb ai/acre)	8回	90日	圃場N: 0.0035 (#)		
			0.2 lb ai/acre 茎葉散布 (計1.6 lb ai/acre)	8回	90日	圃場O: 0.0032 (#)		
			0.2 lb ai/acre 茎葉散布 (計1.2 lb ai/acre)	6回	90日	圃場P: 0.0049 (#)		
			0.2 lb ai/acre 茎葉散布 (計1.2 lb ai/acre)	6回	90日	圃場Q: 0.0057 (#)		
		ホップ (乾燥花)	3	40%水和剤	1-2回目: 0.125 lb ai/acre 3-9回目: 0.25 lb ai/acre 茎葉散布 (計2.4 lb ai/acre)	9回	14日	圃場A: 1.34 (#)
					1-2回目: 0.125 lb ai/acre 3-9回目: 0.25 lb ai/acre 茎葉散布 (計2.0 lb ai/acre)	9回	12日	圃場B: 2.97 (#)
					1-2回目: 0.125 lb ai/acre 3-9回目: 0.25 lb ai/acre 茎葉散布 (計2.0 lb ai/acre)	9回	14日	圃場C: 5.62 (#)
ハッカ (ミント) (可食部)	1		0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.375 lb ai/acre)	3回	31日	圃場A: 0.16		
大豆	1	19.7 乳剤	0.125 lb ai/acre 茎葉散布 (計0.250 lb ai/acre)	2回	14日	圃場A: 0.2090 (#)		

(注 1) 残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成 10 年 8 月 7 日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。

(注 2) (#)：これらの作物残留試験は、申請の適用範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
小麦	0.3	0.3				
大麦	0.5	0.5				
大豆	0.3	0.3			0.25 アメリカ	【0.2090(n=1)(米国)】
はくさい	1	1				
チンゲンサイ	1	1				
その他のあぶらな科野菜	1	1				
ごぼう	1	1				
サルシフィー	1	1				
アーティチョーク	1	1				
チコリ	1	1				
エンダイブ	1	1				
しゅんぎく	1	1				
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	9	9			9.0 アメリカ	【0.20~3.95(#)(n=7) (米国)】 0.48/0.46(#)(食用菊) 0.35,0.375(ふき)
その他のさく科野菜	1	1	○			
たまねぎ	1	1				
ねぎ(リーキを含む。)	1	1	○			
にんにく	1	1	○			
にら	1	1				
アスパラガス	1	1				
わけぎ	1	1	○			
その他のゆり科野菜	1	1	○			
にんじん	1	1				
パースニップ	1	1				
パセリ	9	9			9.0 アメリカ	【米国レタス参照】
みつば	1	1				
その他のせり科野菜	1	1				
トマト	2	1	○・申	0.3		0.30,0.58(\$)(ミニトマト)
ピーマン	1	1	○			
なす	1	1	○			
その他のなす科野菜	1	1	○			0.22,0.25(ししとう) 0.35,0.40(とうがらし)
きゅうり(ガーキンを含む。)	1	1	○			
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	1	1	○			
しろうり	1	1				
すいか	1	1	○			
メロン類果実	1	1	○			
まくわうり	1	1				
その他のうり科野菜	1	1				
ほうれんそう	1	1				
たけのこ	1	1				
オクラ	1	1				
未成熟えんどう	1	1	○			
未成熟いんげん	1	1				
えだまめ	1	1				
その他の野菜	1	1	○			0.32,<0.08(未成熟さきげ) 0.16,0.50(食用金魚草)
りんご	0.5	0.5	○	0.5		
日本なし	0.7	0.7	○	0.5		0.03(#),0.14(#)/ 0.08(#),0.34(#)(\$)
西洋なし	0.7	0.7	○	0.5		【日本なし参照】
マルメロ	0.5	0.5		0.5		
びわ	1	1		0.5		
もも	1	1	○	2		
ネクタリン	2	2		2		
あんず(アブリコットを含む。)	2	2		2		
すもも(プルーンを含む。)	0.5	0.2		0.5		
うめ	2	2		2		
おうとう(チェリーを含む。)	2	2	○	2		

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm	
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm		
いちご	1	1	○	1			
ラズベリー	1	1					
ブラックベリー	1	1					
ブルーベリー	1	1					
クランベリー	1	1					
ハuckleベリー	1	1					
その他のベリー類果実	0.5	0.5		0.5			
ぶどう	1	1		1			
かき	1	1	○				
バナナ	2	2		2			
キウイ	1	1					
パパイヤ	1	1					
アボカド	1	1					
パイナップル	1	1					
グアバ	1	1					
マンゴー	1	1					
パッションフルーツ	1	1					
なつめやし	1	1					
その他の果実	1	1	○				
綿実	0.02	0.02			0.02	アメリカ	【<0.01(#)(n=1)(米国)】
アーモンド	0.02	0.02			0.1	アメリカ	【<0.0032~0.0057(n=6)(米国)】
茶	20	20	○				
ホップ	10	10		2	10	アメリカ	【1.34~5.62(n=3)(米国)】
その他のハーブ	1	1	○				0.4,0.4(しその葉)
牛の筋肉	0.03	0.03		0.01	0.1	アメリカ	推:0.023
豚の筋肉	0.03	0.03			0.1	アメリカ	【牛の筋肉参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.03	0.03			0.1	アメリカ	【牛の筋肉参照】
牛の脂肪	0.02	0.02		0.01	0.05	アメリカ	推:0.020
豚の脂肪	0.02	0.02			0.05	アメリカ	【牛の脂肪参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.02	0.02			0.05	アメリカ	【牛の脂肪参照】
牛の肝臓	0.4	0.4		0.01	1.0	アメリカ	推:0.39
豚の肝臓	0.4	0.4			1.0	アメリカ	【牛の肝臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.4	0.4			1.0	アメリカ	【牛の肝臓参照】
牛の腎臓	0.07	0.07		0.01	0.2	アメリカ	推:0.068
豚の腎臓	0.07	0.07			0.2	アメリカ	【牛の腎臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.07	0.07			0.2	アメリカ	【牛の腎臓参照】
牛の食用部分	0.4	0.4		0.01	0.2	アメリカ	【牛の肝臓参照】
豚の食用部分	0.4	0.4			0.2	アメリカ	【牛の肝臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.4	0.4			0.2	アメリカ	【牛の肝臓参照】
乳	0.09	0.09		0.01	0.2	アメリカ	推:0.083
鶏の筋肉	0.01	0.01		0.01	0.02	アメリカ	推:<0.002
その他の家さんの筋肉	0.01	0.01		0.01	0.02	アメリカ	【鶏の筋肉参照】
鶏の脂肪	0.01	0.01		0.01	0.02	アメリカ	推:<0.002
その他の家さんの脂肪	0.01	0.01		0.01	0.02	アメリカ	【鶏の脂肪参照】
鶏の肝臓	0.01	0.01		0.01	0.02	アメリカ	推:<0.002
その他の家さんの肝臓	0.01	0.01		0.01	0.02	アメリカ	【鶏の肝臓参照】
鶏の腎臓	0.01	0.01		0.01	0.02	アメリカ	推:<0.002
その他の家さんの腎臓	0.01	0.01		0.01	0.02	アメリカ	【鶏の腎臓参照】
鶏の食用部分	0.01	0.01		0.01	0.02	アメリカ	推:<0.002
その他の家さんの食用部分	0.01	0.01		0.01	0.02	アメリカ	【鶏の食用部分参照】
鶏の卵	0.01	0.01		0.01	0.02	アメリカ	推:0.0042
その他の家さんの卵	0.01	0.01		0.01	0.02	アメリカ	【鶏の卵参照】

(§)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。

(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

「作物残留試験」欄に「推」の記載のあるものは、推定残留量であることを示している。

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

「基準値現行」欄には、平成22年12月24日及び平成23年6月29日に開催された薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会において議決された内容を示した。

(参考)

これまでの経緯

平成 2 年 1 1 月 7 日	初回農薬登録
平成 1 7 年 1 1 月 2 9 日	残留農薬基準告示
平成 2 0 年 3 月 2 5 日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成 2 1 年 5 月 2 1 日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成 2 2 年 1 2 月 1 7 日	薬事・食品衛生審議会への諮問
平成 2 2 年 1 2 月 2 4 日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成 2 3 年 6 月 2 9 日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成 2 2 年 1 1 月 2 4 日	農林水産省より厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：トマト、ミニトマト）
平成 2 2 年 1 2 月 1 0 日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成 2 3 年 8 月 1 1 日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成 2 3 年 1 2 月 1 2 日	薬事・食品衛生審議会への諮問
平成 2 3 年 1 2 月 2 1 日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

石井 里枝	埼玉県衛生研究所水・食品担当専門研究員
○大野 泰雄	国立医薬品食品衛生研究所長
尾崎 博	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学教室教授
斉藤 貢一	星薬科大学薬品分析化学教室准教授
佐藤 清	財団法人残留農薬研究所理事・化学部長
高橋 美幸	農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所上席研究員
永山 敏廣	東京都健康安全研究センター食品化学部長
廣野 育生	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科教授
松田 りえ子	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
宮井 俊一	社団法人日本植物防疫協会技術顧問
山内 明子	日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部長
由田 克士	大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授
吉成 浩一	東北大学大学院薬学研究科医療薬学講座薬物動態学分野准教授
鰐淵 英機	大阪市立大学大学院医学研究科都市環境病理学教授

(○：部会長)